

100回の節目となる大会の開会式で堂々と入場行進する八学光星ナイン。5日、甲子園球場



第100回夏の甲子園開幕

光星 堂々行進

第100回全国高校野球選手権大会が5日、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で開幕した。開会式では、2年ぶり9度目の出場となる八学光星が、青森大会59チームの代表としての誇りを胸に、堂々と行進した。

前回の優勝校・花咲徳栄(北埼玉)を先頭に、南から順に入場。光星ナインは最後

から3校目の54番目に聖地に足を踏み入れた。校名がアナウンスされると、球場からは温かい拍手が送られた。

開会式を終え、中村優惟投手(久慈・長内中出)は「観客が多くて驚いた。いよいよ始まったという感じ」と、初戦に向けて気持ちを高ぶらせていた。ナインは同日、同県三木市内で調整し、約1時間半の練習のほとんどを打撃に費やした。(金濱千優希)

関連記事 12、22、23頁